

JAグループの一員として

農業への貢献

担い手を育てる

世界的な穀物需給バランスの逼迫と  
“食の安全・安心”へのニーズから、  
国内産の農産物を見直す動きが急速に高まっています。  
食糧安全保障といった大きな観点だけでなく、  
身近で収穫された農産物を身近な地域で消費する  
“地産地消”の声も着実に広がっています。  
農林中央金庫は、JAグループの一員として、  
また、JAバンクの一翼を担う金融機関として  
JAバンクが提唱する「JAバンクアグリサポート事業」などに協力し、  
日本農業に対する正しい理解を得るとともに、  
これからの日本農業を支える担い手を支援しています。



JAバンクの取組み

農林中央金庫では、JAバンクの一員として、JAバンクアグリサポート事業、アグリシードファンドなど、さまざまな取組みを行っています。

|                                                                    |                                                 |                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| JAバンク<br>アグリ<br>サポート事業                                             |                                                 | 当金庫は、JAバンクが設立したJAバンクアグリ・エコサポート基金に対し、平成22年度までの4カ年で119億円を拠出するとともに、JAバンクの一員として、大きな変革に直面する日本の農業・農村に対しこれまで以上に踏み込んだ施策を展開し、自らの社会的使命に応えていくため、「JAバンクアグリサポート事業」をJA・信農連と連携のもと取り組んでいます。                           |
| 事業概要                                                               |                                                 |                                                                                                                                                                                                       |
| 「農業担い手に対する支援」「農業および地域社会に貢献する取組みなどに対する支援」を切り口に、農業振興等に貢献する事業を展開するもの。 |                                                 |                                                                                                                                                                                                       |
| 事業実施主体                                                             |                                                 |                                                                                                                                                                                                       |
| 一般社団法人JAバンクアグリ・エコサポート基金                                            |                                                 |                                                                                                                                                                                                       |
| 平成22年度の取組み                                                         |                                                 |                                                                                                                                                                                                       |
| 農業担い手に対する支援                                                        | 利子助成事業：JAが行う農業関連の融資に対して最大1%の利子助成を実施             | JAが行う6万1,000件の農業関連融資の利用者に、10億8,900万円の助成金を交付しました。                                                                                                                                                      |
|                                                                    | 投資事業：農業・環境分野の経営体にファンドを通じて支援                     | 農業振興、環境貢献、社会貢献に積極的に取り組む経営体を支援していくことを目的に設立したアグリ・エコファンドにアグリ・エコサポート基金より20億円出資し、これまでに22社、9億5,600万円の投資を実行しました。                                                                                             |
|                                                                    | 新規就農支援事業：農業担い手育成のための新規就農希望者の受入れを支援              | 平成22年4月から、将来の農業担い手の育成を支援するため新規就農希望者（研修生）を受け入れる農家・JAなどへの助成を開始し、平成22年度は約500件、4,900万円の計画を受け付けました。                                                                                                        |
| 農業および地域社会に貢献する取組みなどに対する支援                                          | JAバンク食農教育応援事業：JA等が行う食農教育等の活動に対する助成、教材本の制作・贈呈を実施 | 教材本贈呈事業：食農教育・環境教育・金融経済教育をテーマとする小学校高学年向けのオリジナル教材本を制作し、JAバンクから全国の小学校の97%にあたる2万1,000校に137万セットを贈呈しました。<br>教育活動助成事業：全国のJA等が実践する、子どもを対象とする食農教育等をテーマとした活動に対し費用助成を行っており、平成22年度は2,200件、7億2,700万円の活動計画を受け付けました。 |

アグリシードファンド

平成22年4月、当金庫は、関連法人であるアグリビジネス投資育成株式会社（以下、「アグリ社」と連携して、地域農業の担い手に育ち得る農業法人の育成について取組みを一層強化することとし、農業法人育成のための資本供与の仕組み（愛称：アグリシードファンド）を新たに整備いたしました。従来から、アグリ社は農業法人への出資を通じて、出資先の財務安定化を図ることを主な事業としておりますが、これらに加え、「資本不足ながら技術力のある農業法人」へ当ファンドを通じて資本を提供することにより、地域農業の担い手に育ち得る農業法人を幅広く育成することとしております。

平成22年度は、当ファンドを通じて、17の農業法人へ投資を実行しました。



# 農業への貢献



## 新規就農支援事業(JAバンクアグリサポート事業)

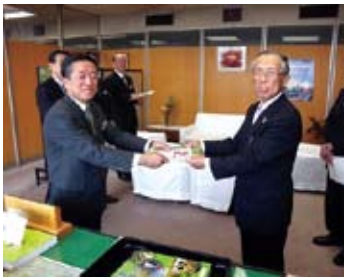
平成22年度からの新たな事業として、JAバンク新規就農応援事業を開始しています。この事業は、将来の国内農業における担い手として期待される、新規就農希望者(研修生)を育成するための研修を行う農家やJAなど研修受入先の取組支援を通じ、新規就農希望者の独立就農を後押しすることにより、地域農業の振興・発展に貢献するものです。具体的には、独立就農のための実践的な研修を行う研修受入先に対し、研修生1名あたり年額12万円(最長2年間)の助成を行うものです。

平成22年度は、500件、4,900万円の計画を受け付けました。

## 教材本贈呈事業・教育活動助成事業(JAバンクアグリサポート事業)

### 教材本贈呈事業

食農教育・環境教育・金融経済教育をテーマとする全国の小学校高学年向けのオリジナル教材本を制作し、平成22年度は、JAバンクから2万1,000校の小学校(全国の97%をカバー)に137万セットを贈呈しました。この取組に対し、小学校等から感謝の言



葉や高い評価等をいただいております、実際に教材を手にした小学生からは2,508件、また先生からも349件に及ぶアンケートの回答をいただきました。

### 教育活動助成事業

全国のJA等が実践する子どもを対象とする食農教育等をテーマとした教育活動に対し、基金が費用助成を行うことでJA等の取組みをサポートしています。平成22年度は2,200件、7億2,700万円の活動計画を受け付けました。

## ファーマーズ&キッズフェスタ2010への特別協賛

当金庫では、東京・日比谷公園にて開催された「ファーマーズ&キッズフェスタ2010」に特別協賛を行いました。同イベントは「子供と農業をつなぎ、未来への架け橋となることを願う」という趣旨で、日本農業法人協会の会員である農業法人等が中心となって企画したものです。

全国から農業法人や農業関連企業・団体等が出展し、農産物の販売等を行いました。また子供向けのイベントとして、農産物の販売体験や、ミニ農園での農業体験、動物とのふれあいコーナー等が実施され、子どもたちが楽しみながら農業に親しむ様子が見られました。

当金庫はJA全農、JA共済連、株式会社農協観光とともにブース出展を行い、JAバンクアグリサポート事業の紹介をパネル展示やDVD放映により行うとともに、JAバンクの教材本を配布しました。ブースへの来場者は2日間で1万人を超えました。

イベント全体では2日間で58,000人が来場し、テレビニュースや新聞、ツイッター等でも幅広く広報され、首都圏で農業をPRする良い機会となりました。



## アグリ・エコファンド

「アグリ・エコサポート投資事業有限責任組合」(通称:アグリ・エコファンド)は、農業振興・環境貢献に積極的に取り組む意欲のある企業経営体を、ファンドからの資本提供を通じて育成支援していくため平成20年8月に設立され、平成23年3月末現在、22社でご利用いただいています。



### 次世代を担う農業法人等への投資事業

#### 投資先の紹介〜ベルグアース株式会社

##### ベルグアース株式会社の概要

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 設立    | 平成13(2001)年1月     |
| 代表取締役 | 山口 一彦(やまぐち かずひこ)  |
| 本社所在地 | 愛媛県宇和島市           |
| 生産拠点  | 本社農場、長野農場、いわて花巻農場 |
| 事業内容  | 野菜苗の生産販売          |

ベルグアース株式会社は、接ぎ木苗を中心とした野菜苗の生産量日本一を誇るアグリベンチャー企業です。平成18年には国内最大級の閉鎖型育苗施設を建設、減農薬・高品質苗や生分解性ポットを使用した苗など、顧客や時代のニーズにマッチした新商品の開発生産に取り組んでいます。

育苗まで手が回らない高齢の農家や規模拡大を進める農家・農業法人からの需要が高まるなか、生産・在庫管理等のシステム化にも積極的に取り組み、苗の

計画生産、安定供給を可能とする体制づくりに注力してきました。

このような取組みが取引先や利用者に評価され、現在では生産量日本一となり、国内農業を支える企業となっています。また、地元での雇用機会の創出に加え、山口社長の「日本の農業に革命を」という夢に共感して県外から就職する若手社員が増加しており、地域の活性化にも貢献しています。



## 全日本大学駅伝への特別協賛

「日本の未来を担う若者たちを応援したい」という思いから、JAバンクは学生三大駅伝の一つである「全日本大学駅伝大会」(熱田神宮〜伊勢神宮:106.8km)に特別協賛しています。全国8ブロックで開催される予選会では学生ランナーに地元産米おにぎりを配布、本大会では沿道のみなさまに地元産具材をふんだんに使った鍋を振る舞うなど、JAバンク役職員が熱のこもった応援を送り、大会を大いに盛り上げています。

